

# JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.53

2007年4月1日

発行  
協会事務局全国自動車大学校・整備専門学校協会  
〒160-0015 東京都新宿区大京町31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

## ソーシャル検定の実施に向けて

(専)中央自動車大学校理事長・校長  
全国自動車大学校・整備専門学校協会理事

廣川 萬里

JAMCA会員校から巣立つファーストクラス・オートモービルエンジニアの特質とすべく、「社会常識豊かな人間味ある技術者」を育成、認定するために、平成19年度からソーシャル検定が実施されることになりました。

### 一級整備士のあるべき姿

私は、あることから一級整備士にこだわりの持つようになりました。日本で初めて一級整備士が誕生した時、国交省だったか日整連だったか忘れましたが、この方々を表彰されました。その記事が写真入りで新聞に掲載されましたが、その写真に写っている一級整備士の皆さんの中に、いわゆる「お行儀の悪い」座り方をしている人が何人かいました。一緒に写真を見ていた人が思わず「これで一級整備士なの？」と言った言葉が、私にはとても強烈に聞こえ、今でも忘れられません。

その時から「本校の一級整備士」はこうであってはいけない。単なる二級の上の資格者であってはいけないと思い、「本校の一級整備士」はどうあるべきか模索し始めました。時を同じくしてJAMCA理事会で、ソーシャル検定の実施とその基本テキストの作成が決まり、テキスト作りが始まりました。模索中の私は、テキストの完成を大きな期待をもって待っていました。そして完成したテキストを読み始めて、思わずふき出してしまいました。

第3章 敬語 のところです。

『尊敬していない人には、たとえ上司



であっても敬語を使わなくても良いのでしょうか(省略)……上司と対立してもかまわないなら、敬語を使う義務はありません』とあって、次に、でもあなたのコミュニケーション能力の実力は？と問いかけて、もしあなたが平均的な力しかないのであれば、『誰の協力も無しにすべてができるのなら良いですが、もしそうでなければ相手に敬意を表す敬語を使い、気分良く接することが第一歩です』としています。

このテキストはすべてがこのような書き方になっていて、押しつけがましくなく「夢と希望を持って力強く生き抜きたい若者」のためにという思いで貫かれています。それ故でしょうか、いちいち納得して読み進めましたし、読み終わった時には「社会常識を身につけた人間味あふれる若者」を本校生にオーバーラップさせていました。

### 夢と希望へ羽ばたく道筋

もっとも、第6章 つきあいの終業後の付き合い方で、『自分をもっと知ってもらいたい、相手のことも知りたい。それが自分のためにプラスにな

るというポジティブな考えでいくことです』とありますが、この前段で『上司からの誘いで、お酒が飲めないのに(省略)……時間がないのに(省略)……の場合は、ハッキリと自分の意思を伝えます。ただし(省略)……むげに断り続けるのも打ち解けることができにくく、円滑な人間関係を築く妨げになることもあります。多少歩み寄って(省略)』とあります。この「多少歩み寄って」のさじ加減が付き合いの一番難しいところで、「社会人になって経験的に長年にわたって学んできたはずの私」でさえも難しく、「これを学生に教育で気づかせる」ことは、至難の業だと思いましたが……。

いずれにしても、「大卒に比べて人間性の幅が狭い」と言われ続けてきた専門学校生が、転換点にある現社会でソーシャル検定によって「強くたくましく生き抜く力」が認定され、名実共にファーストクラス・オートモービルエンジニアとして、夢と希望の実現に羽ばたく道筋ができたことは、本校生はもとよりJAMCA会員校の学生にとって誠に喜ばしく、心から応援したいと思います。

### CONTENTS

2面	OPINION
3面	我が校自慢
4・5面	今後の専門学校に求められるもの
6面	協会トピックス
7面	活躍卒業生・地区通信
8面	私の教材活用・編集後記